

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 4 月 12 日 (2012.4.12)

【公開番号】特開 2010-251502 (P2010-251502A)

【公開日】平成 22 年 11 月 4 日 (2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2010-044

【出願番号】特願 2009-98949 (P2009-98949)

【国際特許分類】

H 0 1 S 5/022 (2006.01)

【F I】

H 0 1 S 5/022

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 2 月 28 日 (2012.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

板状のステムと、

前記ステム上に底面が載置された柱状のサブマウントと、

前記サブマウントの側面上に設けられ、発振波長の異なる複数のレーザダイオードと、

前記ステムを貫通して設けられ、前記サブマウントの側面の稜線に対向する位置に配置されたリードピンとを備え、

前記複数のレーザダイオードの発光点から前記ステムの中心軸までの距離がすべて実質的に等しいことを特徴とする多波長半導体レーザ装置。

【請求項 2】

前記サブマウントは正多角柱状であることを特徴とする請求項 1 に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項 3】

前記サブマウントは正三角柱状であることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項 4】

前記リードピンは、前記サブマウントの中心軸に対して回転対称であることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか 1 項に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項 5】

前記サブマウントの中心軸と前記ステムの中心軸とが一致することを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 のいずれか 1 項に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項 6】

前記複数のレーザダイオードの少なくとも 1 つは、2 波長レーザダイオードであることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 5 のいずれか 1 項に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項 7】

前記複数のレーザダイオードは、前記サブマウント側面の稜線近傍に配置されたことを特徴とする請求項 6 に記載の多波長半導体レーザ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

この発明に係る多波長半導体レーザ装置は、板状のステムと、前記ステム上に底面が載置された柱状のサブマウントと、前記サブマウントの側面上に設けられ、発振波長の異なる複数のレーザダイオードと、前記ステムを貫通して設けられ、前記サブマウントの側面の稜線に対向する位置に配置されたリードピンとを備え、前記複数のレーザダイオードの発光点から前記ステムの中心軸までの距離がすべて実質的に等しいことを特徴とするものである。